

表1 namedWindow関数の引数

引 数	説明:	ウィンドウの作成
winname	ウィンドウのタイト	トル(日本語などの全角文字不可)
flags	ウィンドウの表示方法	
	cv2.WINDOW_ AUTOSIZE	表示する画像の大きさに合わせ てウィンドウのサイズが変化す る (初期値). ウィンドウのリサ イズはできない
	CV2.WINDOW_ NORMAL	ウィンドウの大きさに合わせて 画像を表示する.ウィンドウの リサイズが可能だが画像の縦横 比が崩れる

リスト1 画像をウィンドウに表示する

import cv2 # 画像ファイルの読込		
img = cv2.imread("./images/Image.jpg") # ウィンドウの作成		
cv2.namedWindow("WINDOW_NORMAL", cv2.WINDOW_NORMAL) cv2.namedWindow("WINDOW_AUTOSIZE", cv2.WINDOW_ AUTOSIZE)		
# 画像の表示		
cv2.imshow("WINDOW_NORMAL", img)		
cv2.imshow("WINDOW_AUTOSIZE", img) # 主一入力结ち		
cv2.waitKey()		

OpenCVは、画像処理や画像解析の機能が搭載さ れたオープンソースのライブラリで、Windows, macOS, Linux環境で動作します.本連載では OpenCVを扱う上で、知っておくと便利な小技やラ イブラリを紹介していきます.



プログラム名:namedWindow.py

画像を表示するウィンドウを作成するには namedWindow関数を用います.ウィンドウをあら かじめ作成せずにimshow関数で画像を表示するこ とも可能ですが、この場合、第2引数のflagsに cv2.WINDOW_AUTOSIZEを指定した場合と同じに なります.



 (a) 画像の大きさに合わせてウィンドウのサイズ が変化する cv2.WINDOW AUTOSIZE



(b) ウィンドウのリサイズが可能な cv2.WINDOW_NORMAL

図1 namedWindow関数の実行結果

namedWindow(winname[, flags]) 表1に引数を示します.

リスト1に画像をウィンドウに表示するサンプル・ プログラムを,図1に結果例を示します.

ウィンドウの全画面表示設定

プログラム名:window_fullscreen.py

namedWindowで作成したウィンドウを、タイト ル・バーなしでデスクトップ画面全体に表示するに は、setWindowProperty関数を使います。第2 引数にcv2.WND_PROP_FULLSCREEN、第3引数 にcv2.WINDOW_FULLSCREENを指定します.ウィ ンドウを元のサイズに戻す場合は、cv2.WINDOW_ NORMALを指定します(**リスト2**).

第1回	拡大/縮小,移動表示で縦横比が崩れない!
	画像表示ウィンドウ CvZoomWindow クラス (2025年4月号)
第2回	画像データ変換,日本語対応(2025年5月号)